



Team石川



小中一貫CSだより第54号 令和2年9月25日 文責：千葉 敦
めざす子ども像(15歳の姿)：時と場に応じた挨拶・返事・言葉遣いができ、思いやりの心を持つ生徒

石川小・中学校合同引き渡し訓練 実施

9月1日(火)に、石川小・中学校合同引き渡し訓練が実施されました。地震発生という想定で、まず小学校・中学校それぞれで避難行動を取りました。その後、避難場所の小学校体育館へ、小学生は校内を歩いて、中学生はグラウンドを横切って避難をしました。

昨年度の反省を生かして、今年は、保護者の自動車の駐車場所と自動車の移動経路や、保護者が体育館に入ってから受付け～児童・生徒の呼び出しの仕方などを工夫しました。さらに地域コーディネータ



ーの小田桐様、須藤様、谷川様にもお手伝いいただきました。その結果、保護者のご理解とご協力もあり、昨年度に比べて体育館内での保護者の混雑が緩和され、引き渡しがスムーズに進みました。自動車に関しては、敷地が限られているのでどうしても渋滞が発生します。今後は自動車の動線にも工夫を重ね、もっとスムーズに進むように取り組みます。

今年はさらに、避難場所である小学校体育館での三密を避けるために、ステージに中学1年生を、ギャラリーには小学5年生と6年生を待機させて児童・生徒どうしの間隔を十分に取りました。結果的にスペースに余裕ができ、体育館内での児童・生徒の移動が楽になりました。

今年で東日本大震災から9年がたちました。津軽地方は比較的被害は少なかったものの、その記憶を忘れることなく、常に災害に対する備えを万全にし、子どもたちへの訓練を続けていきます。地域のみなさまのご協力も、よろしくお願ひいたします。



第2回石川小・中学校学校運営協議会開催

9月16日(水)に、中学校会議室を会場に、第2回目の学校運営協議会が開催されました。

今回は、小学校・中学校それぞれの課題について、各校長より説明がありました。弘前市教育委員会による『魅力ある学校づくりプラン』に基づいて各校で実施した「こどもの声・意識調査」の結果によると、小学校・中学校とも、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校や、授業での三密防止のための様々な制限が、子どもたちの学校生活に様々な形で影響しているとのことでした。今後は、新しい生活様式に基づき、校内研修等を活用して先生方の意識と取り組みを向上させ、子どもたちが「学校が楽しい」、「みんなで何かをするのは楽しい」、「授業に主体的に取り組んでいる」、「授業がよく分かる」と感じることができるよう授業づくりに、小学校・中学校が連携して取り組むことが確認されました。

コロナ禍により、児童・生徒の家庭や学区内での生活に影響が出ているかもしれません。児童館に来る子どもが若干減っているという報告もありました。学区内で見られる子どもたちの様子に何かお気づきの点がありましたら、遠慮なく小学校・中学校へご連絡ください。地域の宝を見守ってくださるよう、よろしくお願いします。



石中祭開催

9月19日(土)～20日(日)の二日間、「TRY～新しい何かを見つけるために～」というテーマで石中祭が開催されました。生徒会執行部の工夫を凝らしたオープニングムービーに続き、各学年の個性が光った「学年ステージ」、歌やダンスで盛り上がった「スター誕生」、なじみのある曲で楽しかった「音楽部発表」、アート・音楽・スポーツ&クイズで石中王を決めた

「VSクラス」、そして青春のエネルギーがぶつかりあった「スポーツフェスティバル」など、熱い二日間でした。今後、生徒会は2年生中心の新体制にバトンタッチされ、3年生は進路に向かって本格的な受験体制に入ります。新たなスタートを切る石川中学校の活躍を、期待してください。



石川小修学旅行

9月10日(木)～12日(土)の2泊3日で、石川小学校6年生が函館～洞爺湖への修学旅行を実施しました。コロナ禍で多少活動に制限がありましたが、北海道の大自然と歴史・文化に触れ、大いに見聞を広げた三日間でした。またふるさと津軽・石川の良さを再認識することもできたようです。地域のみならず、6年生が残り半年の小学校生活を大事に過ごせるよう、温かく見守ってください。よろしくお願いします。

